

Press Release

— 若き研究者による人類や社会に貢献する独創的な研究に期待 —

2022年度稲盛研究助成に50名を採択

公益財団法人稲盛財団（理事長 金澤しのぶ）は、この度、理事会の決議を経て、国内の若手研究者の支援を目的とする稲盛研究助成の2022年度対象者を決定しましたので、お知らせいたします。



贈呈式の様子（2019年）

- 採択人数：自然科学系 40名／競争率 9.1倍、人文・社会科学系 10名／競争率 4.8倍（計 50名）
- 研究助成：50名それぞれに 100万円を贈呈（計 5,000万円）
- 交付実績：1985年度～2021年度＝延べ 1,731名、17億 2,060万円

「2022年度稲盛研究助成金贈呈式」につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止することにいたしました。

■ 本件のお問い合わせ

公益財団法人稲盛財団 広報課 平川 直希・中島 剛

〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町 620 番地 COCON 烏丸 7F

TEL: 075-746-2523 FAX: 075-353-7270 E-mail: press@inamori-f.or.jp

URL: [稲盛財団] <https://www.inamori-f.or.jp> [プレスリリース] <https://www.inamori-f.or.jp/tag/pressrelease>

※本資料は、京都大学記者クラブ、京都経済記者クラブ等に配布しています。



稲盛研究助成について

稲盛財団創業者・稲盛和夫の理念に基づき、未来の人類社会に貢献する人材育成を目的として、1985年より毎年、国内の自然科学、人文・社会科学の若手研究者を対象に、独創的で優れた研究活動を支援しています。

1. 2022年度選考結果

2022年度は、国内の選抜された国立大学、公立大学、私立大学、大学共同利用機関法人、その他の研究機関に所属する411名（自然科学系363件、人文・社会科学系48件）の研究者から応募がありました。

助成対象となった研究は、いずれも新しい視点やユニークな取り組みによりそれぞれの研究分野に発展をもたらし、将来的に人類や社会への大きな貢献が期待できるものです。2022年度を含めた稲盛研究助成の助成対象者は延べ1,781名、助成総額は17億7,060万円となります。

2. 助成金額

1件100万円です。毎年、自然科学系40件、人文・社会科学系10件、計50件(5,000万円)を助成します。

3. 助成金の使途

当該研究の遂行に必要な経費である限りにおいて、その使途に制限はありません。

4. 伯楽制度

本研究助成のユニークな制度として「伯楽制度」があります。これは中国の故事「千里馬常有 而伯楽不常有（世に千里の馬は常に有れども、伯楽は常に有らず）」にちなみ、当該年度の助成対象者に選ばれた方の中で、抜きん出て優秀かつ有望な研究を行うと選考委員会が認めた方に対して2年連続して助成する制度です。

（2022年度の適用者はありませんでした）

5. 盛和スカラーズソサエティ（3S: Seiwa Scholars Society）

本研究助成を受けた対象者相互の交流と親睦を深めることによる研究のさらなる発展を願い、1997年に発足しました。専門分野が細分化され、学問全体が見えづらい近年、異分野間の横断的かつ学際的な思考の重要性がますます求められています。3Sの会員は、自然科学から人文・社会科学にいたる幅広い分野の研究者で構成され、研究発表、講演会、交流会の開催やメールマガジンの配信などの活動を通じて、専門分野を越えた交流をはかっています。



2022年度稲盛研究助成 選考委員会名簿

2022年度稲盛研究助成対象者は、下記の委員長および委員によりご選考いただきました。

委員長 村上正紀 立命館大学 理事補佐・特別招聘教授

[自然科学系]

委員	審良静男	大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 特任教授
〃	巖佐庸	九州大学 名誉教授
〃	上田正仁	東京大学 大学院理学系研究科 教授
〃	岡田清孝	京都大学 名誉教授
〃	影山龍一郎	理化学研究所 脳神経科学研究センター センター長
〃	片岡一則	(公財)川崎市産業振興財団 副理事長 東京大学 名誉教授
〃	君塚信夫	九州大学 大学院工学研究院 主幹教授
〃	佐々木節	東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 副機構長
〃	坪井俊	武蔵野大学 工学部 特任教授
〃	西田栄介	理化学研究所 生命機能科学研究センター センター長
〃	野田進	京都大学 大学院工学研究科 教授
〃	安浦寛人	九州大学 名誉教授
〃	柳田素子	京都大学 大学院医学研究科 教授
〃	山田容子	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授

[人文・社会科学系]

委員	井野瀬久美恵	甲南大学 文学部 教授
〃	玄田有史	東京大学 社会科学研究所 教授
〃	河野哲也	立教大学 文学部 教授
〃	山室信一	京都大学 名誉教授
〃	渡辺千原	立命館大学 法学部 教授

※肩書きは、2022年3月11日時点

2022年度研究助成対象者ならびに研究題目

自然科学系	
研究助成対象者	研究題目
アサノ ケイスケ 浅野 圭佑 京都大学 大学院工学研究科 助教	炭素-炭素二重結合の触媒機能開拓に基づく時空間選択的反応プローブの開発
アンザイ アツシ 安西 淳 慶應義塾大学 医学部 助教	臓器間炎症ネットワークから捉えた動脈硬化進展の新規分子機序の解明
イトウ タイチ 伊藤 太一 九州大学 基幹教育院 助教	ヒドラにおける睡眠量の雌雄差とオルニチン作用機序の関係性の解明
ウエダ マサヒコ 上田 仁彦 山口大学 大学院創成科学研究科 講師	繰り返しゲームにおける利得制御の数理構造の解明
オガワ アキコ 小川 亜希子 東北大学 加齢医学研究所 助教	新規RNA修飾代謝酵素による免疫応答制御の解明
オグリ ヤスオ 小栗 靖生 京都大学 大学院農学研究科 助教	ベージュ脂肪細胞の増殖に関わる調節因子の多面的解析
オノ ダイスケ 小野 大輔 名古屋大学 環境医学研究所 講師	時計遺伝子によらない新・概日時計メカニズムの解明
カシヨウ カズトシ 加生 和寿 九州大学 大学院薬学研究院 助教	ミトコンドリアゲノムの数と遺伝情報を正確に維持するための制御因子探索と分子機構解析
カシワギ ミツアキ 柏木 光昭 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 助教	興奮性神経による睡眠の新規神経回路メカニズムの解明
カワベ タケシ 河部 剛史 東北大学 大学院医学系研究科 准教授	T細胞の自然免疫機能に着目した新たな感染症治療戦略の創出
キマタ ユウスケ 木全 祐資 東北大学 大学院生命科学研究科 助教	コケ植物ゼニゴケを用いて植物の体軸形成機構の進化にせまる
コダマ マサフミ 小玉 将史 鹿児島大学 水産学部 助教	流れ藻生態系の形成過程とそのメカニズムの解明



ゴトウ アキヒロ 後藤 明弘 京都大学 大学院医学研究科 助教	オフラインシナプス可塑的变化の記憶固定における必要性
コワダ トシユキ 小和田 俊行 東北大学 多元物質科学研究所 助教	細胞小器官同士の膜接触領域の形成と解離を光制御する化学ツールの開発
コンドウ アズサ 近藤 梓 東北大学 大学院理学研究科 准教授	強塩基性キラルプレステッド塩基触媒を用いた非連続不斉炭素中心を有する光学活性化合物の合成法の確立
シオミ コズエ 塩見 こずえ 東北大学 学際科学フロンティア研究所 助教	鳥類の飛行モード進化に関わる遺伝的メカニズムの解明
ジツキ ススム 實木 亨 三重大学 大学院医学系研究科 准教授	シナプス可塑性による脳機能地図の再構成のメカニズム
シノダ カズマ 篠田 一馬 宇都宮大学 工学部 准教授	遠隔迅速病理診断のための分光偏光同時撮影と多目的デジタル染色法の開発
シマダ タカシ 島田 貴士 千葉大学 大学院園芸学研究院 助教	油滴を介した植物のストレス応答機構の解明
スワ ヒデマロ 諏訪 秀麿 東京大学 大学院理学系研究科 助教	電荷・スピン・軌道自由度が絡む有限温度量子ダイナミクス計算法の開発
タケダ タカシ 武田 貴志 東北大学 多元物質科学研究所 助教	動的な水素結合有機フレームワークの創製と外部刺激応答材料への展開
タナカ ヒロヨシ 田中 啓祥 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 助教	膵がんにおける線維化障壁を克服するナノメディシン戦略の開発
タナカ マサキ 田中 正樹 東京農工大学 大学院工学研究院 助教	高秩序な双極子配向を誘起する分子ダイナミクスの探索
タナカ ユウヤ 田中 裕也 東京工業大学 科学技術創成研究院 助教	ラジカルの非局在化による安定化を鍵とする有機金属単分子スイッチの開発
ツチオカ シュンスケ 土岡 俊介 東京工業大学 情報理工学院 講師	アフィン・リー環の表現論を用いたロジャーズ・ラマヌジャン型恒等式の導出
テシマ ヒデアキ 手嶋 秀彰 九州大学 大学院工学研究院 助教	加熱液中原子間力顕微鏡の開発と沸騰開始の素過程の解明



トガシ ヨウスケ 富樫 庸介 岡山大学 学術研究院医歯薬学域 教授	腫瘍微小環境のミトコンドリア異常の抗腫瘍免疫応答への影響の解明
ナガオカ ソウ 長岡 創 奈良県立医科大学 医学部 助教	マウス卵子の機能形成及び生存を保證する転写制御機構の解明
ハヤシ ゴウスケ 林 剛介 名古屋大学 大学院工学研究科 准教授	分解耐性を持つタンパク質の設計と化学合成
ハヤシ ショウタロウ 林 正太郎 高知工科大学 環境理工学群 講師	ドミノ型単結晶-単結晶相転移の実現による分子結晶相転移の観察
ヒビヤ ユキ 日比谷 由紀 東京大学 大学院総合文化研究科 助教	太陽系誕生環境の謎への挑戦：希ガス同位体を用いた原始太陽系円盤の温度構造と近傍星の解明
ヒロタ マサカズ 広田 雅和 帝京大学 医療技術学部 講師	デジタル時代の視機能管理：眼疲労を簡便に定量評価できるデバイス開発と適切なスマートフォン視距離の探索
マエダ ミハル 前田 深春 秋田大学 大学院医学系研究科 助教	細胞分裂期に分泌が停止するメカニズム
マツヒサ ナオジ 松久 直司 慶應義塾大学 理工学部 専任講師	高速駆動伸縮性皮膚一体型ディスプレイ
マツモト トモノリ 松本 知訓 大阪大学 微生物病研究所 助教	倍数性変化に基づく癌薬剤耐性化機構の解明とその抑止戦略の開発
モリシタ ヒデアキ 森下 英晃 順天堂大学 大学院医学研究科 講師	生体の恒常性と変容を支える新規細胞内分解機構の同定
モリタ リツコ 森田 梨津子 理化学研究所 生命機能科学研究センター 上級研究員	毛包幹細胞の自己複製能獲得メカニズムの解明
ヤマダ キヒロ 山田 貴大 東京工業大学 理学院 助教	X線誘起磁化反転現象の開拓
ヤマダ シュンスケ 山田 駿介 東北大学 大学院工学研究科 助教	生分解性金属のナノポーラス化技術の確立とその蓄電素子への応用
ヨシダ スグル 吉田 優 東京理科大学 先進工学部 准教授	新規複素環構築のための逐次アライン反応
小計 40 件	



人文・社会科学系	
対象者	研究題目
ウ ユジン 禹 裕眞 一橋大学 大学院法学研究科 講師	難民への権利保障の2つの道: 受入国政府と国際機関はいつ難民保護を進めるか?
カワムラ ユウスケ 河村 有介 神戸大学 大学院国際協力研究科 助教	中国対外援助の中東・北アフリカ地域の社会保障に対する影響の分析: エジプトを事例として
ササキ メグミ 佐々木 恵 北陸先端科学技術大学院大学 保健管理センター 准教授	大学生の先延ばし行動と精神健康の関係ー日本人学生と留学生の共通点・相違点に着目した心理学的研究ー
サトウ ショウヘイ 佐藤 尚平 早稲田大学 文学学術院 准教授	日英両帝国による植民地文書の破棄と隠匿についての比較研究
タカハシ ジュンイチ 高橋 純一 福島大学 人間発達文化学類 准教授	「心の目」の多様性: アファンタジアの出現率推定とサブタイプの提唱
トミナガ キョウコ 富永 京子 立命館大学 産業社会学部 准教授	社会的権利要求に対する揶揄・冷笑・攻撃——雑誌記事コーパス分析と回顧的語りの検討から
ナカヤマ リョウヘイ 中山 遼平 東京大学 大学院人文社会系研究科 助教	日本語読文能力を支える視覚運動処理に関する心理物理学的検討
ハナイ カズヨ 華井 和代 東京大学 未来ビジョン研究センター 講師	コンゴの紛争資源問題からとらえるビジネスと人権
フクイ マサノリ 福井 昌則 徳島大学 高等教育研究センター 准教授	学校教育で創造性を高める方法に関する検討: 問題変形と問題の構造理解に着目した実証的研究
ワシヤ ヨウスケ 鷺谷 洋輔 東北大学 大学院教育学研究科 准教授	「動点観測」の可能性ー見習いマタギのエスノグラフィーー
	小計 10 件
	合計 50 件

※所属・役職は 2022 年 3 月 10 日時点